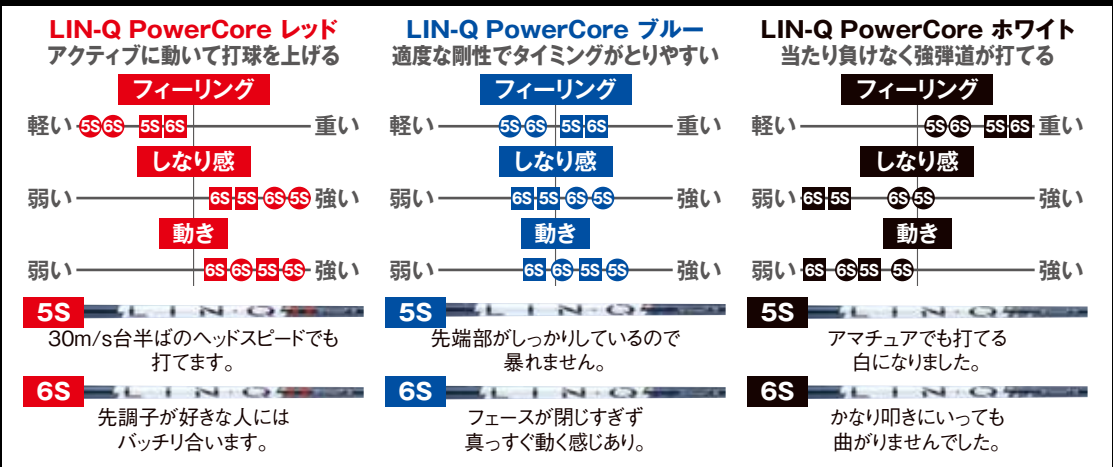


USTマミヤの打席で
試せるシャフト一覧

モデル名
LIN-Q PowerCoreシリーズ
LIN-Q EX シリーズ
LIN-Q EX FW
LIN-Q EX HY
ATTAS SPEEDシリーズ
ATTAS RX ULTRA BLACK
ATTAS RX SUNRISE RED
The ATTAS V2
ATTAS MB FW
ATTAS MB HY
ATTAS IRON
ATTAS FF IRON
Recoil DART
ATTAS SPINWEDGE IP

【LIN-Qシリーズ・スペック別比較】

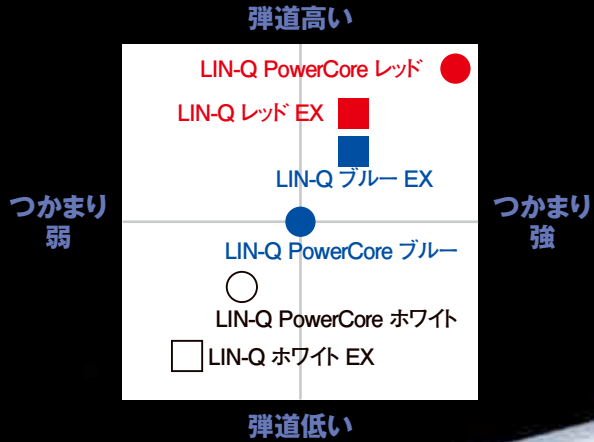


高さがほしい人も
叩きに行きたい人も
打ちやすくなった

「LIN-Q PowerCore」のレッドは5S、6Sとも楽に高弾道が打てるようになりました。よくしなってねじれが少ないですからヘッドスピードが遅めでもOKです。ホワイトは5S、6Sのどちらも思ったよりハードではなく、ハマると強弾道で飛ばせます。ブルーは両者の真ん中。スペックによらずタイミングがとりやすいのが特徴です。

※「スペック別比較表」の●は「LIN-Q PowerCore」、■は「LIN-Q EX」。

【LIN-Qシリーズ・弾道高さと球のつかまり比較】



「LIN-Q PowerCore」シリーズは
アマチュアも使いやすいツアーシャフト

「LIN-Q PowerCore」はレッド、ブルー、ホワイトともツアープロの使用を主眼に置いたような印象の「LIN-Q EX」に比べてボールがつかまり、上がりやすくなっています。ヘッドの返り方が緩やかなのでスペック選びがポイントになりますが、モデル別にキックポイントが違うので選びやすいです。どちらのシリーズもブルーを基準にするとレッドはソフト、ホワイトはハード系ですが、「LIN-Q PowerCore」はしなりが多くなったぶん打ちやすくなりました。

2026春のシャフト大試打会

最新&注目モデルプレビュー

USTマミヤ

「EX」から乗り換えたら飛距離アップするかも？
しなるけど、曲がらない！
「LIN-Q PowerCore」



軟らかめでも低トルクなのでねじれずヘッドが素直に動いてくれた。

「LIN-Q PowerCore」シリーズと
「LIN-Q EX」シリーズを比較試打



【LIN-Qシリーズ・比較モデルの調子・重さ・トルク】

モデル	フレックス	調子	重さ	トルク
LIN-Q PowerCore レッド	5S	中	60g	3.6
	6S		67g	3.4
LIN-Q レッド EX	5S	中	59g	3.6
	6S		67g	3.1
LIN-Q PowerCore ブルー	5S	中元	58g	3.9
	6S		68g	3.5
LIN-Q ブルー EX	5S	中元	58g	3.4
	6S		67g	2.9
LIN-Q PowerCore ホワイト	5S	元	62g	4.1
	6S		66g	3.5
LIN-Q ホワイト EX	5S	元	58g	3.4
	6S		68g	3.1

ヘッドスピードを気にせず
「LIN-Q EX」シリーズとは
全く別物と捉えてもらいたい
「LIN-Q EX」に比べて
「LIN-Q PowerCore」は、
コンセプトをアマチュア向けにシフ
トした印象が強いです。従来、硬い
ほど低トルク、軟らかいほど高トル
クが常識でしたが、最近は軟らかく
て低トルクのモデルが増えていて、
その典型と言えるのが「LIN-Q
PowerCore」。3モデル全
てしなりが増しています。「LIN-
Q EX」よりしなりが強いので、打
ちやすさを感じる人も多い反面、そ

うでない人もいます。ある意味個性が
際立ったモデルなので、ヘッドス
ピードは気にせず、「LIN-Q EX」
とは全く違ったシャフトと考えて試
してみてください。
僕が打った感じでは、安定してし
なってヘッドが走るのにヘッドがあ
まり返りません。そのぶん意識的に
ヘッドを返したり、元調子なら中調
子、中調子なら先調子というように、
キックポイントを先側にする必要が
あるかもしれませんが、それを差し
引いても「LIN-Q EX」では味わ
えない振りやすさがありますから、
飛距離アップしたいならトライして
みるべきシャフトだと思います。